

# 山行報告

## ★ 御津山脈縦走に参加して

中嶋

ようやく寒くなった秋晴れの朝、7:30高砂運動公園に参加者20名が集合、到着の遅れたバスを待つ間ストレッチ体操をする。7:45バスは予定どおり室津へ向け出発。途中姫路SEで松下さんが乗車した。8:40室津に到着、10分後砂川会長を先頭に嫦娥山(265.8m)を目指して出発した。すぐ登山道と思いき道に入ったが、山道が荒れており、道がわかりづらく。少し本道を見つけるのに手間取った後、竹やぶの中の山道を登る。積もった落ち葉、枯れた竹等の荒れた中を縫って進む。時折残る苔むした石垣、いくつかの井戸や水がめの跡が往年の畑か人家跡を偲ばせる。やがて雑木林に変わり山の斜面を登っていく。40分後一面笹に覆われた山頂に到着、三角点とダイセル化学工業の看板がある。10分間休憩するが高い木立に囲まれて展望はまったく効かない。これより下りとなり、ダイセル化学の敷地を囲む鉄条柵に沿って進むと鳩が峰の茶店跡や峠(江戸時代、参勤交代のため海路で瀬戸内海を旅した西国大名は、室津で上陸し、室津街道を通じて山陽道に出、東を目指した)の標識がある。ここは又、あのシーボルトも江戸へ参府するのに通った所である。100mほど下に明治時代に作られた切り通しの広い道があった。ここから急な登りの山道が続いた後、視界が開ける。全員岩の上でしばし展望する。国道250号線の七曲海岸線、大浦の浜、穏やかな海と陸続きのように連なる、家島、坊勢島、西島、右の方には小豆島、手前に三つの島、湾には漁船、ヨット、牡蠣の養殖筏等が点在し、鏡の様な水面にアクセントを付けている。10:55雄鷹山(310.6m)に到着、10分間休憩した。急な下り坂に行く、この山脈はツゲ、シイ、どんぐり、さかき、松等の木々が生え、里山の面影が色濃く残っている。縦走路が「女郎街道」(相生の造船所から室津へ女郎買いにいくのに通ったことから呼ばれる様になったという)と交差した所には、多くの標識がたっていた。

一つの山頂を過ぎて暫く進んだ後、12:00柏第三展望台に着き、昼食をとる。展望も良く、南斜面は冷たい北風を遮断し、暖かくて気持ちよいため、30分を1時間に延長した休憩を取る。また全員の写真を撮った。すこし行くと五六見山頂上(292.5m)に着く。三角点を確認後すぐ下山し分岐点まで引き返す。道筋は一定の間隔のもと、赤い布、赤テープが認められ、地元山歩きの会により良く整備されている。しかし道は時折、枯れ木やシダ草が茂り、登山者がまだまだ少ない事がうかがえ取れる。時々、リンドウや野路菊が咲いている。14:15柏公園に全員無事に下山した。その後、バスで室津に移動し、町内の石畳道を探索、室津の歴史がわかる海駅館、民族館を見学後、港の土産物店でいわし、さよりの一夜干しや牡蠣等の買い物を楽しんだ後、新舞子荘に入浴。暗い中、青や白のイルミネーションに飾られた木々を見ながら、サッパリした気分で帰路に着いた。楽しい山行をありがとう御座いました。

| 場 所          | 着     | 発     |
|--------------|-------|-------|
| 高砂総合運動公園     |       | 7:43  |
| 登山口          | 8:40  |       |
| 嫦娥山          | 9:35  | 9:45  |
| 鳩が峰(108m)    | 10:10 | 10:25 |
| 雄鷹台展望台       | 10:30 |       |
| 雄鷹台山(310.6m) | 10:55 | 11:05 |
| 柏第三展望台       | 12:00 | 12:50 |
| 五六見山(292.9m) | 13:10 |       |
| 柏公園          | 14:15 | 14:30 |
| 室津散策         | 14:40 | 16:10 |
| 新舞子荘         | 16:20 | 17:20 |
| 高砂総合運動公園     | 18:30 |       |



## ♥ 三瓶山キャンプ泊山行に参加して

入会して初めての宿泊登山、しかもこの寒いときにテント泊とは・・・と不安も抱きながら申込む。まず用具を揃え出発。前日までの寒さに比べて少し寒さも和らぎ絶好の行楽日和。車窓から美しい紅葉を間たり島根県が金島さんの故郷とあって有名人や出雲の歴史を聞きながら一路三瓶山に・・・。

到着すると少し雷が鳴り出し夕食の支度を始めたころ雨が少し降り出した。しかしキャンプ場はとても設備がよく、屋根付炊事場で、ホルモン・キムチ・寄せ鍋と皆が驚く豪華夕食「あれが美味しい」「これが美味しい」

## 三瓶山 テント泊 行動記録

11月／24日～25日

| ポイント     | 着     | 発     | メモ    |
|----------|-------|-------|-------|
| 11月24日   |       |       |       |
| 高砂駅北口    |       | 8:35  |       |
| 七塚原SA    | 12:15 | 12:50 | 昼食    |
| 三次 I/C   | 13:00 |       |       |
| 北野原キャンプ場 | 14:20 |       |       |
| 11月25日   |       |       |       |
| キャンプ場    |       | 8:10  |       |
|          | 8:40  | 8:45  | 休憩    |
| 男三瓶山     | 9:45  | 9:55  |       |
| 子三瓶・内池分岐 | 10:45 | 10:55 | 休憩    |
| 室の内池     | 11:15 | 11:40 | 昼食    |
| リフト駅     | 12:10 |       | 通過    |
| 女三瓶山     | 12:30 | 12:45 |       |
| キャンプ場    | 13:55 | 14:30 | テント撤収 |
| 三瓶温泉     | 14:50 | 16:05 |       |
| 三次 I/C   | 17:40 |       |       |
| 高砂駅北口    |       | 22:40 |       |



けられ、ウン 10 年前の私に戻れた事、全員の方に感謝いたします。  
ありがとうございました。

次に立派に組まれたキャンプファイヤー、火がつくと、身も心も青春時代にタイムスリップ。歌集も歌声喫茶なみ、満月にすみきった夜空に大声で歌い、寒さなど何処へやら、又、三木さんのオカリナ演奏を聴いたりとても楽しかった。幸い心配していたテント泊の寒さは感じなかった。

寝つきの悪い私は2時ごろまでゴロゴロ、4時には起きだした。皆の準備、片付けの手順のよさを見ながらいざ登山へ。

昨年、今回の逆半分を登山した事があったので少し心丈夫だった。登山始めはよく整備された男三瓶の登山道、中腹までは紅葉を楽しみながら頂上に着くと、一面すすきの草原、子三瓶、孫三瓶、大平山も見え爽やかな気分。

さて、下山を始めると、登りとはぜんぜん違う顔。足元は急でガラガラ、落ち葉がぬれていてすべりそう。一步一步注意しながらやっと子三瓶との分岐点。今回は時間の都合で、全山征服を変更して池へ下山。ピンク色の

“がく”に赤い実や、黄色い“がく”にオレンジ色の実、野バラの実と、美しい秋を写真に撮ったりした。女三瓶への道は足も慣れてきたのできつくなかった・・・と甘く見ていたら、下りの少しの間、やはりきつかった。

下山して、手早くテントを撤収して一路温泉へ。色々のお風呂があって疲れた足を揉み解し、身を休めた。時間も4時になり一路帰途へ。でも400kmの距離はやはり遠かった。砂川会長は一人で運転、本当にご苦労様でした。皆様に助



## ★ 初冬の三瓶山でのテント泊

利弘

そぎゃんところから、よう来てごしなった。だんだん、だんだんニャ。何もニャけど食べてごしないニャ。出雲地方の歓迎の挨拶です。金島さん（石見地方出身）のふるさとの山「三瓶山」を縦走しました。男に女に子に孫までありました。

島根県を代表する山といえば、三瓶山です。県中央部に位置する独立峰で、山麓は緩やかな草原が広がり、男三瓶、女三瓶、子三瓶、孫三瓶に太平山と五つの山に囲まれたカルデラの中に室内池もありました。山容は笹に覆われた女性的な山で、出雲風土記の国引き神話にも登場する山です。出雲風土記の国引き神話では、引っ張った綱は現在の弓ヶ浜半島と出雲市の長浜、綱をつなぎとめた杭は大山と三瓶山であると記されているそうです。





山の中に突然出現した、箱物たちにはビックリ仰天した。早速テント設営です、女性陣も6人で2張りをなんなく設営、出る幕なし。その後、女性陣は食事の準備・男性軍は飲む準備と手分けして出来上がり、厨房で乾杯し、三種類の鍋を囲み完食。キャンプファイヤーを始める 18 時には雨も上がり、会長ご夫婦による何十年ぶり（？）の共同作業の火入れ式は大歓声（18人）の中燃え上がり、山遊会の安全を祈念しつつ満月の下で、詩吟・オカリナの独奏・自慢の喉の独唱・合唱また、満月を愛でながら滔滔と謳いあげる人と2時間がアット間に過ぎ、1時間延長の後、名残惜しそうにそれぞれのテントへと移動して、静かに（？）休んだと思う。経験不足からマットが120cmしかなく、足の熱が地面に吸い取られ冷たくて大変でした。全身用を買ってもらおう。

朝、早くから厨房が賑やかで、行ってみたらモーニングコーヒーが美味かった。女性たちと大瀬さんによって美味い雑炊をつくってもらい、腹いっぱいいただいて、8時に舂賀S・Lを先頭に出発しました。小休憩の後、1125.9mの男三瓶頂上に到着したが、冷たい風のため記念写真を撮ったら即、下山開始したが過去最大、最高の難所の下山道でした。よくまーうちの女性は、健脚ぞろいだ事と感心し、鍛練されている賜物と改めて思いました。時計周り時計の逆周りでは、逆周りのほうが易く時計周りきついと云われ、正にそのとおりだと思いました。室内池のほとりで昼食し、957mの女三瓶を目指して出発したが、この山は世の女性と違って大変やさしかったと思います。落ち葉が多くて、葉っぱの下は危険は？と思うと



歩けなくなるとい、お構いなく歩いたが仕方の無いこと。又、記憶してないだろうが、案内とか歴史の看板が設置してあり、折角登ったなら読んでみたいような気がしたのは私だけ？6時間弱の歩行でしたが、砂川会長が運転するマイクロバスのなかで、今山より北海道の雪崩遭難事故の状況や京都市の嵐山での遭難騒ぎの状況説明を聞き、また、登山中は集中する。体調の異変は早く申し出る等々を全員が肝に銘じたおかげで、怪我ひとつせず安全に楽しく2日間がすごせて、本当に有難うございました。

## 紅葉を楽しもう！ 女性部主催 森林植物園ハイク

北川

### \* その朝

しまった！ 6時起床は、新神戸駅9時集合に遅い。昨夜、冷え込む情報に、ぬくぬく毛布を出したせいで、心地よく寝すぎてしまった。

急がなくちゃ！ 洗濯機を廻し、扶養家族（犬1・猫2・鶏50）にエサをやり、ガスコンロにお茶の湯を沸かし、食パン2枚をトースターに放り込み、ミキサーにりんご・バナナ・青汁・牛乳を入れてジュース作り、夕食の残りの味噌汁を温め卵を2つ割り、チンと鳴ったパンにバターと蜂蜜を塗り、サラダにトマトを切る。出来たそれらを畑に出ている殿のお膳に盛り付け、私は、立ったまま次々と口に入れ、かみかみしながら着替え・お化粧の同時進行。テルモスに熱いお茶を注ぎ、塩鮭を焼いて、炊き立てご飯をおにぎりにして海苔を巻き、お弁当の出来上がり、庭に洗濯物を干し、花に水をやる。ここまで約1時間のフル回転だ。

7時、リュックを担いで車のキーを廻す。殿と私が、健康で自由であるために、手抜きしない家事も大切な要素の一つと思うから。

### \* 紅葉見ごろ

新神戸駅到着8時40分、3番手だった。山陽電車の事故で数人が遅れるとの連絡あり。9時20分、11人全員そろって出発。布引の滝は、水少なく一条の糸のようであった。てくてく、おしゃべりしながらトエンティクロスを過ぎ、森林植物園の東門に着く。入園料300円、65才以上無料、CO-OPカード提示で2人が1割引となる。

園内は至ところ見事な紅葉で、うっとり感動にひたる。心洗われ、たつぷりと命の洗濯が出来た。散りゆく前の一瞬の美しさを残そうと、熟年のカメラマン達が、あちこちに場所取りしていた。遠足だろうか、幼稚園児が、そろいの赤い帽子をかぶり、お手々つないで先生の後を歩いて行く。小さいのや大きいのや可愛いリュックサック姿に、孫の成長を思い浮かべる。家族かボランティアの人に車椅子を押してもらっ

### 森林植物園行動記録

| ポイント     | 着     | 発     |
|----------|-------|-------|
| JR新神戸駅   | 9:00  |       |
|          | 9:15  | 9:25  |
| 桜茶屋      | 10:20 | 10:30 |
| 地獄谷出合い   | 10:40 |       |
| トエンティクロス | 10:50 |       |
| 森林植物園    | 11:30 | 13:35 |
| 再度公園     | 14:10 | 14:45 |
| 大龍寺      | 15:40 | 15:50 |
| 諏訪山公園    | 16:00 |       |
| JR元町駅    | 16:15 |       |

て紅葉を楽しんでる障害者や、お年寄りの方々も沢山おられた。平和でいい情景だなあ!と思う。誰も彼も、自然を素敵と思える心が素敵ね。

### \* 食欲の歌

おしゃべりとグルメとおしゃれは、女性の楽しみ3点セット。森林植物園の昼食後、デザートは別腹と、クッキー・サブレ・ワッフル・チョコレート・せんべい・みかん・等々、どうぞどうぞとテーブルにいっぱい。またまた負ける甘い誘惑。今度こそ我慢できる自分になりたい。しばらく散策し、修法ヶ原で二度目のティータイム。西村さんと金島さん(新品)が、コップェルで湯を沸かし、池の水面に映る色鮮やかな紅葉を眺めながら、おいしいコーヒーを頂く。帰り道は、諏訪山公園まで、とんとんと快適な下り、汗もかかずハンカチ王女(手ぬぐいおばさん)の出番なく元町駅に降りる。

女性部の締めくくりは、一貫楼で中華ぶたまんを土産に買ったそう。電車の中で派手にぶんぷんと匂う異常な状況だったとか。女性部の名誉のために、芸術の秋にちなみ、句をひとひねり追加。

イロハもみじ 恥じらい色に ほお染めて  
あれごらん 指さすかなた 山にしき  
セピア色 くぬぎの道や 過ぎし恋



## ♡ 納山会（駒の尾山）に参加して

戸野本

高御位山遊会にこの夏入会し、初めての一泊山行に参加させて頂きました。今迄二日続いての山登りは、昔、富士山に登って以来の事です。

当日はどんな装備や、服装で出掛けるのか解らず、少々不安な思いでいました。

当日は良い天気恵まれての出発。JR宝殿駅に着くと、改札口を出た所で西村さんが待っていてくれました。ベテランのメンバーに加わって、いざ駒の尾山へ。駒の尾山山頂には12時前に着き、360度の景色を見渡しながらの昼食。風が強く、寒かったけれど、おいしい空気と一緒に食べたお弁当はなによりのご馳走でした。

12時15分に船木山へと出発。雪の残った山道を歩きながら進む内、みぞれが降り出し、船木山に着いた後、後山には行かずに下山を始めました。

前日、リックサックに雨カップを入れ忘れ、ジャンパーだけではびしょ濡れになるかと心配したけれど、何とか防水がかかっていて中まで濡れずに下山する事ができました。

「こぶしの里」には早めの到着で、ゆっくりと入浴ができ、忘年会も5時半から始まり、まるで旅行気分。ご馳走を頂きながら「一人一芸」とかで、色々な芸を披露していただき、すごい盛り上がりでした。お酒も入り、普段ではお目に掛か



れないくだけたメンバーを目にしていっぱい笑い、楽しませていただきました。

2日目の朝は、雨も上がりリュック無しで日名倉山に登り、その後、「愛の村パーク」にて昼食とお風呂も付いて、何と贅沢な二日間だったことでしょう。

今回の山行で、行く前の入念な持物のチェックをする様反省させられました。そして何よりも体力作りにも力を入れて、これからの山行に備えて行きたいと思います。

### 2007年、納山会山行記録

#### 第1日目 12/1 (駒の尾山～船木山縦走)

| ポイント                         | 着     | 発     | メモ        |
|------------------------------|-------|-------|-----------|
| 高砂駅北口                        |       | 8:00  |           |
| 林田 (ファミリーマート前)               |       | 8:50  |           |
| 駒の尾山 登山口                     | 10:20 | 10:40 | 林道ダルガ峰線   |
| 駒の尾山                         | 11:45 | 12:15 | 昼食        |
| 2分程下ると避難小屋・大茅スキー場、ダルガ峰への分岐有り |       |       |           |
| 鍋ヶ谷山                         |       |       | 確認出来ず     |
| 船木山と下山道の分岐                   | 13:10 |       |           |
| 船木山まで行き、小休止後引き返す             |       |       |           |
| 船木山と下山道の分岐                   |       | 13:25 |           |
| 檜の植林帯に入る                     | 13:45 |       | ジグザグの道を下る |
| キャンプ場 登山口                    | 14:40 | 14:55 | 全員無事に下山   |
| こぶしの里 後山                     | 15:05 |       |           |

#### 第2日目 12/2

| ポイント      | 着     | 発     | メモ      |
|-----------|-------|-------|---------|
| こぶしの里 後山  |       | 9:00  |         |
| ベルビール自然公園 | 9:10  | 9:25  |         |
| 日名倉山      | 9:55  | 10:15 |         |
| ベルビール自然公園 | 10:40 |       |         |
| 愛の村パーク    | 11:45 | 14:25 | 昼食と温泉入浴 |
| 林田 (大飯店前) | 15:25 |       |         |
| 高砂駅北口     |       |       |         |





## ★ 納山会に参加して

内海

### 12月1日

昼食用のにぎりを確保して7時40分ごろ高砂駅に、送迎バスに一番乗り、乗り物酔いの薬をのみ準備ばたん。約2時間半にて駒の尾登山口に到着。さすがは標高差があり寒く防寒着を利用し、ストレッチ体操を済ませ、いよいよ出発。駒の尾山登山道はブナ林やクマザサのさわやかな道で、よく整備され道幅も広く思ったより疲れなく登れた。また山頂では西に那岐山、東にこれから縦走する「鍋ヶ谷山」「船木山」そして「後山」「日名倉山」北に「氷ノ山」と心地よい。駒の尾山を後に鍋ヶ谷山、船木山と約30分ごとに次の山に登る緩やかなペースで、靴底が埋まる程度の積雪も気にならず船木山山頂に着く。眼下には千種川源流の千種高原と集落、その北方向の三室山

(1,358m)の遠景、北側眼下にはブナ林など巨木が見事な若杉天然林、沖の山

(1,319m)東山(1,388m)、また東には那岐山(1,240m)とこの峰は兵庫、岡山、鳥取の県境にあり眼下のなだらかな山麓集落と大パノラマがすばらしい。後山を目前にして後山登山口へと下る頃、小雨模様になり雨具を被り結構な急勾配を下山する。また沢や岩道もあり今回は往路でなくよかった。

### 12月2日

昨晚の宴会は楽しく愉快で料理もお酒もおいしくいただき、めずらしく朝はすっきり元気でした。山登りには程よい気温で登山道もよく整備されていて、杉や桧の植林帯を抜けササ原になってまもなく日名倉山頂に着く。山頂には小さな祠と「日名倉山三の丸」の石碑があり、南側には雲海、西には峠を挟んだような形で後山が大きく見える。後山は岡山県最高峰、兵庫県第3の高峰だけあってどっしりした山容で迫力がある。その向こうに昨日縦走した船木山、鍋ヶ谷山、駒の尾山が見える。離れたところから眺め、随分高い所を歩いたものだと気分が爽快になり、いい気持ちでした。下山は往路をたどりベルピール自然公園の日本一のベルを鳴らし、この山行のお礼をし、そして温泉でゆっくり汗を流しました。

最後に、この2日間心身とも爽快で楽しくできました。役員及び幹事の皆さんありがとうございました。

